

令和 5 年度 学校経営環境分析書

広中央中学校区 校番 4 広中央中学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育活動を理解し協力的な保護者・地域住民が多い。 ○ 「学びの変革」(授業改善)が求められている。 ○ 新しい時代に必要となる資質・能力の育成を目指している。ICT環境が整備されつつある。 ○ 教職員の働き方改革が推進されている。 ○ 防災教育の充実が求められている。 	<p>S (強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力調査で、生徒の自己肯定感が全国や県の平均を上回っている。 ○ 困ったときには大人に相談できると回答した生徒が 86%である。 ○ 生徒指導規程に基づき、個に応じた指導が行われている。 ○ ICTの環境が整備されつつある。 	内部環境	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業改善を進める。 ○ タブレットを効果的に活用する。 ○ 生徒が主体的に取り組む場を仕組み、良い言動を認め肯定的な評価を行う。 ○ 定時退校日及び部活動休養日を徹底する。 ○ 学校HPや各種便り等で、積極的に情報発信する。 ○ 防災教育を充実させる。
	<p>T (阻害的要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症により、保護者・地域との関わりが制限されていた。 ○ 多様な家庭環境が存在する。 ○ 学校教育に求められることが多様化しており、十分な対応ができていない。 	<p>W (弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の長期欠席者が多い。 ○ 学力調査等で、生徒の学力が全国や県の平均を下回っている。 ○ どの学年も、返事に係るアンケート結果が低い。 ○ 基本的な生活習慣が定着していない生徒が多い。 		<p>阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の居場所を確保する。 ○ 地域に関わる学習を充実させる。 ○ 基礎学力を向上させる。 ○ 掃除・挨拶・返事・姿勢の指導を行う。 ○ 基本的な生活習慣を定着させる指導を行う。

2 重点課題

- ① 学力の向上
 - ・ 思考力・判断力・表現力の育成, 学習規律マニュアルの徹底, ICTの活用
- ② 豊かな心の育成
 - ・ 規範意識の育成, 自尊感情・自己肯定感の向上, 基本的な生活習慣の定着, 体力の向上
- ③ 信頼される学校づくり
 - ・ 開かれた学校, 防災教育の充実, 働き方改革の推進